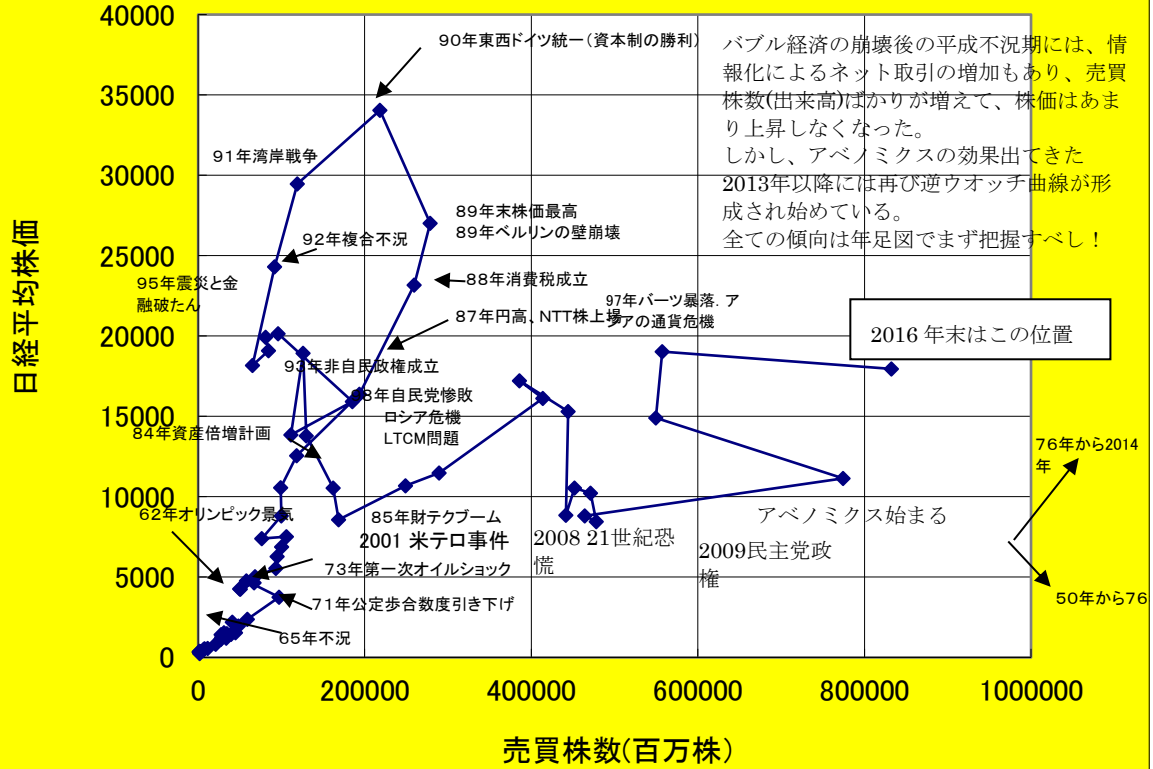


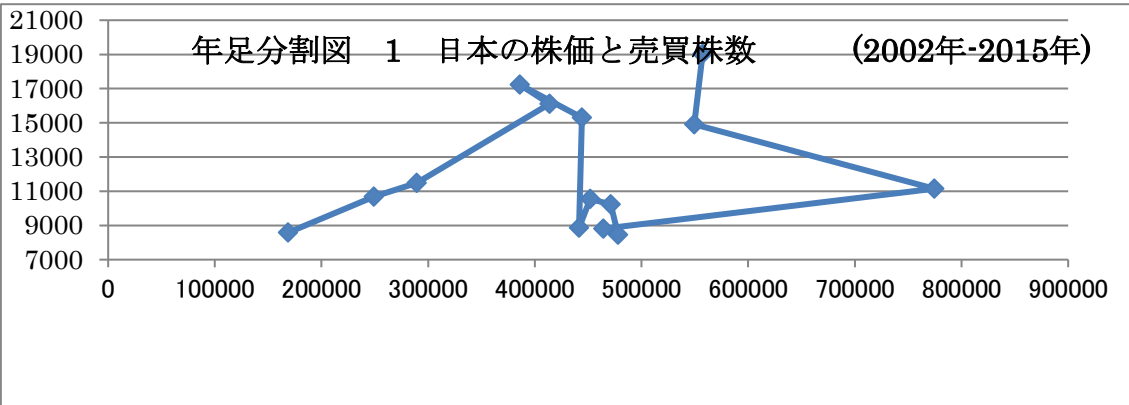
逆ウォッチ曲線に現れる、日本の株式市場の傾向と特徴から

株式相場の先行きはなぜ合理的に読めるのか！

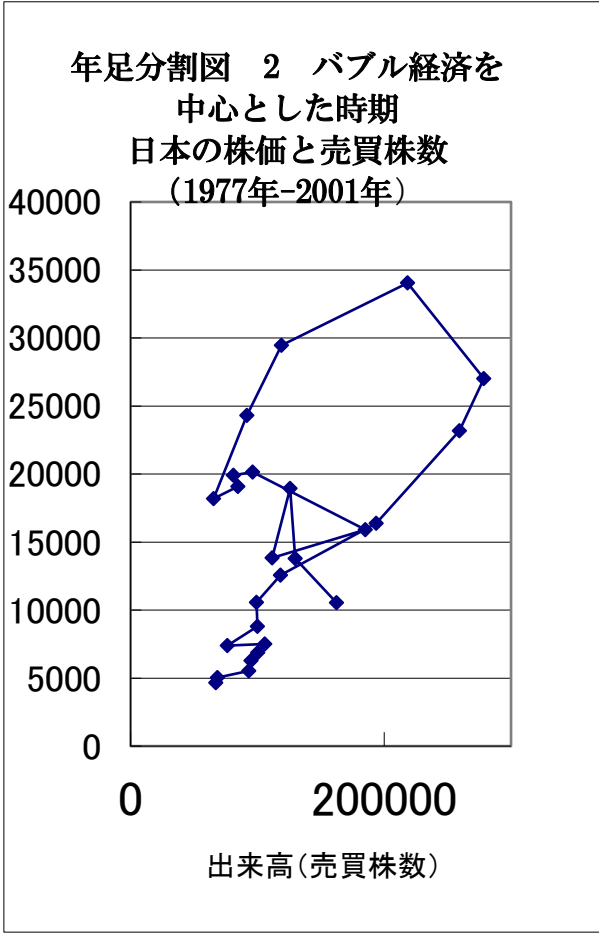
### 基本年足図 日本の株価と売買株数 (1950年～2016年)



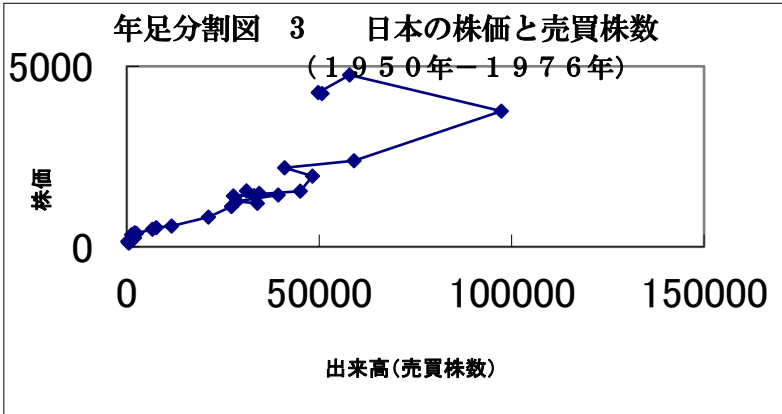
### 年足分割図 1 日本の株価と売買株数 (2002年-2015年)



分割図 2 や同 3 のような縦長の逆ウォッチ曲線ではなく、横長の曲線を形成しつつある。バブル期のような大相場はないが、東京オリンピック控え株価は再び吹き上げる大相場に向かう。その後は厳しい経済に入ることを今から予測しておくべきである。

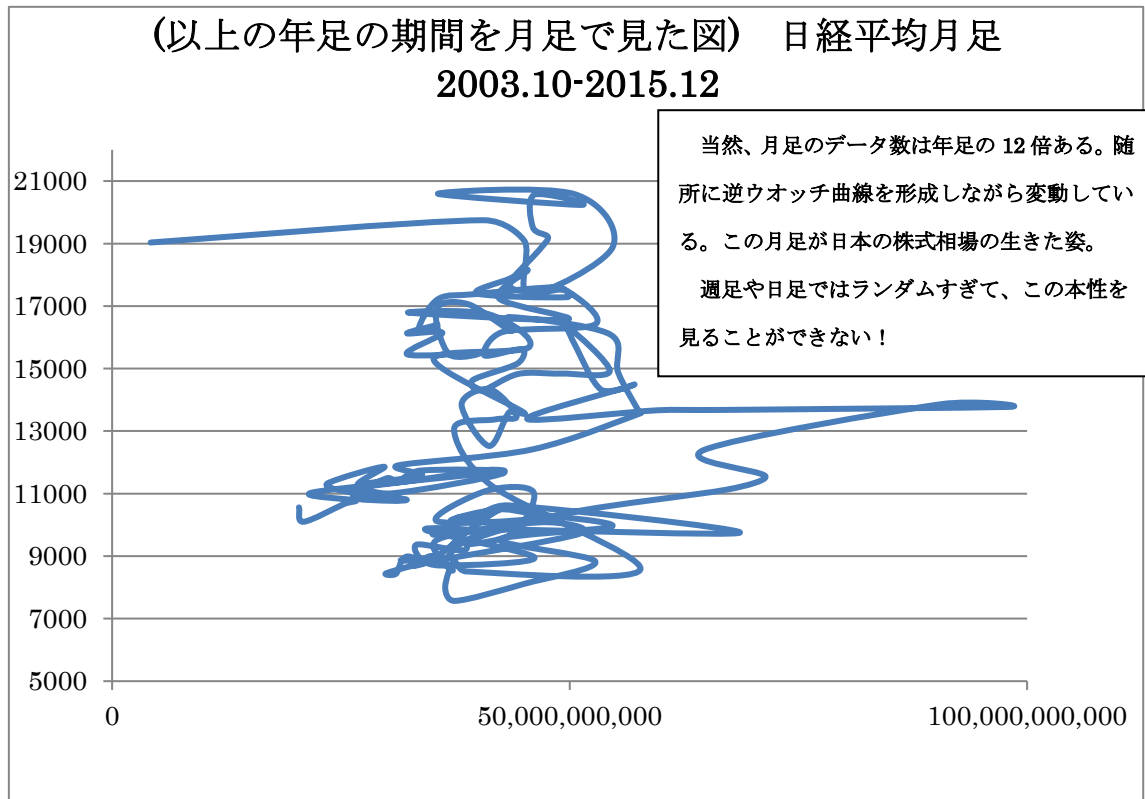


上の図は見事な逆ウォッチ曲線を描いている  
バブル経済前後の図である。1990年がピークで  
あることが自明なのに人々も投資家もこの図を  
考えなかったために予測が外れて破産者も多く出た。  
逆ウォッチ曲線の知識がないからである。



戦後経済の復興の中で、株式相場も発展した。勤勉な日本人の

生命力の現れといえる。まずは、逆ウォッチ曲線を示して  
きたことが注目される。



この逆ウォッチ曲線で分析できる、個別銘柄は1/3あります。